

文化・芸術の催し

美術博物館の催し



問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434  
(〒659-0052 伊勢町12-25)

「チャペック兄弟と子どもの世界」 関連イベント  
上映会「20世紀前半のチェコのアニメーション」

- 日時 8月19日(日)午後2時～ 約1時間
- 会場 講義室
- 内容 『二人の少年と一匹の犬が走り回っているのを見てごらん!』(監督:カレル・ドダルほか 1925年)ほか※DVDでの上映
- 定員 80人
- 参加費 要観覧料

美術博物館 夏祭り

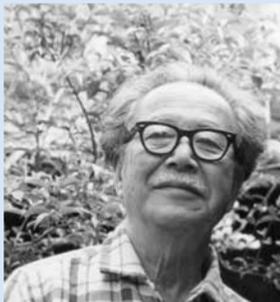
- 日時 8月25日(土)午後4時～7時
- 会場 前庭
- 内容 ヨーヨー釣り・スーパーボールすくい等



夏祭りのようす

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)  
【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日)  
【観覧料】一般500(300)円、大生300(240)円、中学生以下無料  
※( )内は20人以上の団体料金  
※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

● 富田碎花展 — 受け継がれる詞(うた) —

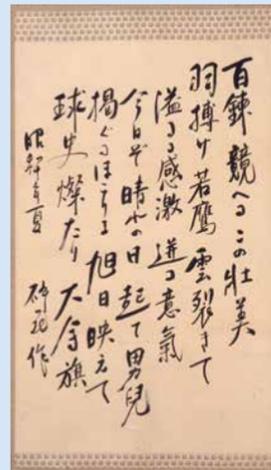


富田碎花

- 会期 9月22日～11月25日
- 会場 ホール、第1・2展示室
- 内容 多岐に渡る碎花の詩作活動の中から、特に校歌、市町村歌や社歌などに焦点を当て、数々の直筆資料を通して、今も受け継がれる碎花の詞(うた)の世界をご紹介します。



ユーハイム社歌(昭和39年)



全国中等野球大会行進曲(昭和10年)

● 2018年秋「ART MARKETあしやつくる場」出店者募集



↑ 昨年の「あしやつくる場」のようす ↓



- 日時 11月24日(土)・25日(日)
- 内容 「ART MARKETあしやつくる場」で手作り品を販売する出店者を募集します。  
※食品・骨董・古着などの既製品を販売は不可。  
※詳細は応募要項をご確認ください。
- 出店料 8,000円(2日間)※1日のみの出店不可
- 募集枠 20枠程度
- 申し込み 申請書に必要事項を記入後、Eメール(✉tsukuruba@shopro.co.jp)または郵送で9月3日(月)までに上記へ。※応募要項・申請書は当館のホームページからダウンロードしてください。インターネットが使用できない人は当館までご連絡ください。  
※応募者多数の場合は抽選。

NHK公開講演会 『太陽の塔』展



問い合わせ 公民館 ☎35-0700    
(〒659-0068 業平町8-24 公民館「太陽の塔」展係)

1970年に日本万国博覧会で岡本太郎(1911-1996)が作り上げた「太陽の塔」の構想から完成、再生事業まで、関連作品や精巧な模型に加え、映像や音響など多彩なメディアを駆使した展覧会(あべのハルカス美術館、9月15日～11月4日)の見どころを、学芸員の講演でご紹介します。

- 日時 10月3日(水)午後2時～3時30分(午後1時30分開場)
- 会場 ルナ・ホール
- 内容 「太陽の塔」展の見どころ紹介
- 講師 あべのハルカス美術館学芸員 新谷式子氏
- 申し込み 往復はがきの往信うら面に、①講演会名「太陽の塔」展②住所③氏名④電話番号⑤参加希望人数(1人または2人)をご記入のうえ、9月19日(水)〈必着〉で上記へ。返信おもて面には申込者の郵便番号、住所、氏名を、返信うら面は空白のままです。  
※応募者多数の場合は抽選



太陽の塔を再訪した岡本太郎(1979年)

谷崎潤一郎記念館の催し



問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244  
(〒659-0052 伊勢町12-15)

【開館30年秋の特別展】

● 谷崎と芦屋・「細雪」 ～モダンと伝統～

- 会期 9月15日～12月9日
- 会場 展示室
- 内容 戦前の芦屋を舞台に、富裕階級の優雅な暮らしをつづった谷崎潤一郎の「細雪」。主人公の四姉妹のモデルになった谷崎の妻、松子姉妹の写真や、松子の妹重子が平安神宮の花見の席で着た羽織、谷崎の直筆原稿冒頭部分など約100点により、古き良き時代の美意識をご堪能いただけます。
- 要特別展観覧料



細雪のモデルになった松子(中央)姉妹

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【特別展観覧料】一般400(320)円、大生300(240)円、中学生以下無料  
※( )内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額